

研究から表現へ

実施日：平成29年1月12日～1月20日 於：フランス（パリ）、ドイツ（デュッセルドルフ）、スペイン（バルセロナ）

■ 派遣専門家



石川将也
ユーフラテス 研究員
グラフィックデザイナー

慶應義塾大学佐藤雅彦研究室の卒業生により2005年設立されたクリエイティブグループ「ユーフラテス」に所属。作品に「Eテレ2355」内『factory of dream』を始めとする「工場を捨象したアニメーション」、書籍『差分』など。映像制作とグラフィックデザインを中心に活動されています。

■ 事業概要

● フランス（パリ）



パリ日本文化会館での講演会



レイヤーの彫刻ワークショップ

● ドイツ（デュッセルドルフ）



講演会の様子



会場のデュッセルドルフ市映画博物館

● スペイン（バルセロナ）



ビック大学附属デザインセンターにおける講演会



カサアシアにおける講演会

■ 実施結果

クリエイティブグループ「ユーフラテス」の研究員／グラフィックデザイナーである石川さんが、パリ・デュッセルドルフ・バルセロナで講演会を行いました。ユーフラテスは「ピタゴラスイッチ」や「2355/0655」などの映像・アニメーションや、書籍・展示・テレビ番組・グラフィックデザインなどの様々なメディアにおける表現の開発に取り組んでいます。パリでは、美術関係学校の学生等に向けての講演会に加え、「レイヤーの彫刻」のワークショップを実施。デュッセルドルフでは、映像の技術史の展示の充実したデュッセルドルフ映画博物館で講演会を開催。バルセロナでは、急遽講演会の座席を増やして講演会を実施しました。各地で、現地メディアからの取材対応を行うとともに、意見交換の場面では、継続した各大学との連携や、ワークショップの実施、展覧会の検討等が話し合われました。